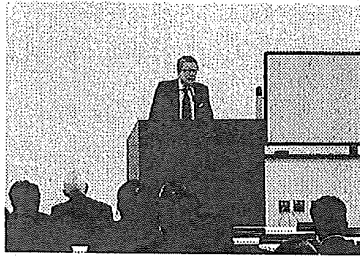


法律順守の重要性と役割を理解

建設コンサルタンツ協会九州支部など建設コンサル5団体共催による「2021年度コンプライアンスに関する会員研修会」が10日、福岡市の福岡県中小企業振興センターで開かれた。5団体の会員約200人が参加し、改めてコンプライアンス順守の重要性と役割の理解を深めた。

研修会は、同支部のほか、福岡県測量設計コンサルタンツ協会、福岡県地質調査業協会、日本補償コンサルタンツ協会九州支部、全国上下水道コンサルタンツ協会九州支部の主催。

冒頭、代表してあいさつした建設コンサルタンツ協会九州支部の田中清支部長は、「法律を守ることは、コンプライアンス上重要なだけでなく、



九州建設コンサル5団体

コンプライアンス研修

われわれの共通の課題である担い手確保・育成のためにも重要だ。この機会に学んでほしい」と述べた。

研修会では、小林・藤堂法律特許事務所の岩下圭一弁護士が「独占禁止法の最近の状況と対応」をテーマに講演した。岩下氏は、入札に参加しただけで立入検査に巻き込まれた事例もあるとし、「常に危機意識を持つとともに、知識を身に付けておく必要がある」と訴えた。